

青森県…メイン州（アメリカ合衆国）

The State of Maine, U.S.A.

1 提携年月日 平成6年5月25日（友好協定書調印の日）

2 州の概況

メイン州は、アメリカ北東部ニュー・イングランド地方の最北東に位置している。北部はカナダと国境を接し、東部は大西洋に面しており、面積は約86,000km²で青森県の約9倍の広さを有している。人口は約133万人（2010年現在）で、州都のオーガスタ市は約1万9千人、州内最大の都市であるポートランド市は約6万6千人となっている。

気候は、湿潤大陸性気候に属し、夏期冷涼型の積雪寒冷地である。州の約8割が森林地帯である一方、約6,000kmにも及ぶ複雑で美しい海岸線を有する。海洋型避暑地として全米に有名で、別名バケーション・ランドと呼ばれている。

産業は、特に、農林水産業、造船業、観光業、商業が盛んで、青森県と類似した産業構造となっている。農業では、ジャガイモ、ブルーベリー、リンゴの生産が盛んであるが、特に、ブルーベリーは全米1の生産量を誇っている。林業では、豊富な森林資源を利用した製紙、パルプ、家具の製造が盛んである。水産業では、ロブスター、ニシン、タラ、ヒラメの漁獲量が多く、特にロブスターは、ロブスターと言えばメイン・ロブスターと言われるほど世界中に有名である。

3 友好提携までの経緯

我が国の国際交流の基軸であり、また県内に米軍三沢基地を有し、1万人を超える軍人や家族のコミュニティを有するなど、本県とつながりの深い米国との交流は欠かせないとの考えから、平成5年6月、北米地域の現地調査を実施した。

その結果、メイン州が本県との交流に積極的であったことから、平成5年9月にはメイン州知事の招へいを受け、県知事を団長とする視察団がメイン州を訪問し、州知事をはじめとする州関係者と協議した。

メイン州は、気候・風土・産業構造などが本県と類似していること、明治22年車力沖で発生したアメリカ帆走船チェスボロー号遭難救助事件により青森県とは歴史的にゆかりのある地域であること、米国の中でもニュー・イングランド地方として歴史と伝統のある州であるとともに大都市であるニューヨークやボストンに近いという地理的優位性を有していること、既に県内の市町村レベルでの交流（つがる市（旧車力村）とバス市、青森市（旧浪岡町）とポートランド近郊都市等）や民間レベルでの交流（県・州の銀行間での職員交換留学等）が進められていることなどから、県と米国との交流拠点として最も相応しい州であると認められ、平成6年5月25日、メイン州政府代表団が来県した際に友好協定を締結した。

4 交流の現状

青森市で行われた友好協定調印式には、メイン州からマイケル・オーベイ経済地域開発局長を団長とする州政府代表団5名と州内の経済・商工関係者等17名から成る友好使節団が来県した。そ

の際、「メイン州フェア」を開催しメイン州の文化や物産を広く県民に紹介した。

平成8年9月には、知事を団長とする代表団がメイン州を訪問し、州知事及び州関係者と友好を深め、今後の交流について意見交換を行ったほか、経済ミッションが商談会を開催し、両県州の企業間で契約が成立するなど経済交流面でも成果を上げた。

また、平成16年8月に友好協定締結10周年を記念して、メイン州代表団を迎え祝賀会を開催したほか、これに併せて「メイン州フェア」を開催した。また、県内民間企業等とメイン国際貿易センターが一同に会する「青森メイン貿易情報交換会」を八戸市において開催し、活発な意見交換を行った。

平成22年10月にメイン州からの事務レベル協議団（カレン・バルダッチ州知事夫人ほか14名）が「再生可能エネルギー」と「持続可能な水産業」をテーマに青森県を訪れ、県内の研究機関や関連企業等を視察し、協議を行うなど、各専門分野での交流を深め、平成23年9月と平成24年3月には、青森県側がメイン州を訪問し、水産業、エネルギー、県産品等をテーマに意見交換を行っている。

なお、平成23年3月11日の東日本大震災の際には、メイン州側で結成した「フレンズオブアオモリ」が募金活動等により集めた3,113,515円を青森県に対する義援金として贈呈しており、そのお礼としてメイン州に対するメッセージビデオを作製し、動画サイトに掲載している。

5 交流の主な動き

- | | | |
|-------|-----|--|
| 明治22年 | 10月 | メイン州バス建造帆走船チェスボロー号が車力沖合で座礁沈没、乗組員4名が村民により救出、両県州交流の礎 |
| 昭和45年 | 7月 | 地元高山稲荷神社付近に白亜の十字架慰霊碑を建立、遭難慰霊祭を挙行 |
| 平成5年 | 6月 | 北米との交流推進基礎調査の実施 |
| | 9月 | 県知事メイン州を訪問 |
| | 9月 | 車力村とメイン州バス市が姉妹都市提携 |
| 6年 | 5月 | メイン州政府代表団及び友好使節団一行が来県し、友好協定を締結「メイン州フェア」の開催（青森市） |
| | 9月 | 副知事を団長とした「青森県・米国メイン州友好の翼」により県民170名がメイン州を訪問「青森県フェア」の開催（バンゴア市） |
| 7年 | 8月 | 行政実務研修のため県職員をメイン州政府に派遣（H9,11,14） |
| | 8月 | 事務レベル協議のため青森県協議団がメイン州を訪問 |
| | 10月 | メイン州知事を始めメイン州代表団が来県 |
| 8年 | 6月 | 教育訪問団がメイン州を訪問し、教育分野での交流について協議 |
| | 9月 | 知事を団長とする青森県訪問団がメイン州訪問 |
| | 9月 | 経済ミッションのメイン州訪問、商談会の開催 |
| 9年 | 3月 | 事務レベル協議のため、メイン州政府代表団が来県 |
| | 9月 | 事務レベル協議のため、青森県協議団がメイン州を訪問 |
| | 10月 | 青森県立郷土館で「メイン州の自然と文化」展を開催 |
| 10年 | 11月 | メイン州農業局代表団の受入 |
| 11年 | 3月 | メイン州事務レベル協議団の受入 |
| | 5月 | メイン州から弦楽四重奏団を招聘し、友好協定締結5周年記念演奏会を開催 |
| | 9月 | 事務レベル協議のため青森県協議団がメイン州を訪問 |

- 12年 3月 メーン州立博物館で青森特別展を開催
- 9月 メーン州事務レベル協議団の受入
- 13年 8月 技術研修のため、県職員を米国東海岸（メーン州を含む）へ派遣
- 9月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 14年 9月 メーン州内のバイオテクノロジー関連施設との交流可能性調査のため、県職員を派遣
- 10月 メーン州事務レベル協議団の受入
- 15年 9月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 16年 8月 友好協定締結10周年記念祝賀会及びメーン州フェアを青森市で開催
青森メーン貿易情報交換会を八戸市で開催
メーン州事務レベル協議団の受入
- 8月 青森県立郷土館で写真展「メーン州の海と産業」を開催
- 9月 青森・メーン高校生相互派遣事業により本県高校生をメーン州に派遣
- 17年 7月 青森・メーン高校生相互派遣事業により、メーン州高校生を受入
- 11月 メーン州事務レベル協議団の受入
- 18年 8月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 11月 青森・メーン高校生相互派遣事業により本県高校生をメーン州に派遣
- 19年 7月 青森・メーン高校生相互派遣事業により、メーン州高校生を受入
- 11月 メーン州知事をはじめとするメーン州代表団が来県
メーン州事務レベル協議団の受入
- 20年 8月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 10月 青森・メーン高校生相互派遣事業により本県高校生をメーン州に派遣
- 21年 10月 青森・メーン高校生相互派遣事業により、メーン州高校生を受入
- 22年 9月 青森・メーン高校生相互派遣事業により本県高校生をメーン州に派遣
- 10月 メーン州事務レベル協議団の受入
- 23年 9月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 24年 3月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 26年 11月 観光国際戦略局長を団長とする代表団をメーン州に派遣し、友好協定締結
20周年記念祝賀会を首都オーガスタにて開催
- 28年 1月 メーン州の民間団体フレンズ・オブ・青森のメンバーを受入れ、県内各地の
交流団体を訪問しセミナー等を開催
- 31年 2月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問
- 令和 5年 9月 事務レベル協議のため、青森県協議団がメーン州訪問